



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月4日 東

上場会社名 株式会社JCU 上場取引所
 コード番号 4975 URL <http://www.jcu-i.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 粕谷 佳允
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 粕谷 多聞 (TEL) 03-6895-7001
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,928	5.8	2,350	9.6	2,387	9.8	1,605	11.4
27年3月期第2四半期	9,384	21.0	2,145	92.4	2,173	70.0	1,441	86.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,584百万円(18.9%) 27年3月期第2四半期 1,332百万円(7.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	227.64	—
27年3月期第2四半期	204.31	—

(注) 平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	21,102	14,857	70.0
27年3月期	21,616	13,633	62.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 14,762百万円 27年3月期 13,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	80.00	—	50.00	—
28年3月期	—	60.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成28年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 10円00銭

平成28年3月期 期末配当金(予想)の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

平成27年3月期の年間配当金合計は、第2四半期末(分割前基準)と期末(分割後基準)で単純合計できませんので、記載しておりません。

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	1.0	5,000	8.5	5,000	3.4	3,500	9.2	496.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	7,054,800株	27年3月期	7,054,800株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	466株	27年3月期	466株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	7,054,334株	27年3月期2Q	7,054,334株

(注) 平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国景気が個人消費を中心に回復基調にあり、欧州景気もユーロ安を背景とする輸出拡大等が支えとなり緩やかな回復が続いています。一方で、中国景気は民間投資の増勢鈍化の影響もあり減速基調にあります。また、米国の利上げや中東地域における混乱等の世界経済の下押しリスク要因があります。また、日本経済におきましても、中国経済の減速等を背景として、景気は足踏み状態にあります。

このような状況のもと、当社グループの業績は、海外における薬品の販売が好調に推移したことにより、売上高は9,928百万円（前年同期比5.8%増）となりました。この結果、営業利益は2,350百万円（前年同期比9.6%増）、経常利益は2,387百万円（前年同期比9.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,605百万円（前年同期比11.4%増）とそれぞれ前年同期を上回りました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(薬品事業)

薬品事業におきましては、中国、台湾、韓国におけるプリント配線板用めっき薬品の販売が順調に推移し、また中国では、自動車用めっき薬品の販売も順調に推移しました。この結果、売上高は8,412百万円（前年同期比12.2%増）、セグメント利益は、3,062百万円（前年同期比8.7%増）と前年を上回りました。

(装置事業)

売上高は1,106百万円（前年同期比25.4%減）となりました。また、セグメント利益は48百万円（前年同期比29.0%減）と前年を下回りました。一方、受注は順調に推移し、当第2四半期連結累計期間の受注高は622百万円（前年同期比20.4%増）、当第2四半期連結会計期間末における受注残高は1,262百万円（前年同期比66.1%増）と前年を上回りました。

(新規事業)

新規事業におきましては、プラズマ装置の売上計上などにより、売上高は409百万円（前年同期比0.6%増）となりました。一方、セグメント損失は、販売費及び一般管理費が増加した結果、244百万円（前年同期はセグメント損失224百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ513百万円（2.4%）減少し、21,102百万円となりました。

流動資産は、主に在庫の減少や繰延税金資産の減少により653百万円（4.2%）減少し、14,857百万円となりました。

固定資産は、主に海外での株式の取得による投資有価証券の増加により140百万円（2.3%）増加し、6,244百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,738百万円（21.8%）減少し、6,244百万円となりました。

流動負債は、主に法人税の支払による未払法人税等の減少や買掛金の減少により1,467百万円（26.0%）減少し、4,168百万円となりました。

固定負債は、主に借入返済による長期借入金の減少により270百万円（11.5%）減少し、2,076百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前連

結会計年度末に比べ1,224百万円(9.0%)増加し、14,857百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、6,338百万円と前連結会計年度末に比べ81百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益の増加や棚卸資産の減少により、営業活動によるキャッシュ・フローは1,124百万円となりました。また、売上債権の増加があった前年同期と比べ、収入が279百万円(33.0%)の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出は減少しましたが、投資有価証券の取得による支出が増加したことにより、投資活動によるキャッシュ・フローは△477百万円と、前年同期と比べ支出が162百万円(51.5%)の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金支払額の増加により、財務活動によるキャッシュ・フローは775百万円の支出となりました。また、長期借入金の実行等があった前年同期と比べ1,027百万円の減少(前年同期は252百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月8日に公表した通期業績予想を以下のとおり修正いたしました。

売上高 20,000百万円
営業利益 5,000百万円
経常利益 5,000百万円
当期純利益 3,500百万円

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等の要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会
社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載
し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売
却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方
法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表における影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,013,660	6,901,852
受取手形及び売掛金	5,695,632	5,740,963
商品及び製品	1,110,917	1,002,981
仕掛品	134,888	63,344
原材料及び貯蔵品	401,445	324,207
繰延税金資産	513,526	310,049
その他	825,999	694,607
貸倒引当金	△184,230	△180,064
流動資産合計	15,511,838	14,857,942
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,740,086	2,156,167
機械装置及び運搬具（純額）	608,694	678,883
工具、器具及び備品（純額）	404,111	484,150
土地	522,824	522,824
リース資産（純額）	137,036	132,110
建設仮勘定	699,169	117,489
有形固定資産合計	4,111,922	4,091,626
無形固定資産		
のれん	21,779	18,301
その他	68,518	80,791
無形固定資産合計	90,298	99,093
投資その他の資産		
投資有価証券	1,504,670	1,555,420
繰延税金資産	5,197	85,206
その他	392,316	413,299
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,902,185	2,053,925
固定資産合計	6,104,406	6,244,645
資産合計	21,616,245	21,102,588

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,320,088	1,668,279
短期借入金	267,038	171,158
1年内返済予定の長期借入金	551,844	504,528
リース債務	17,981	18,300
未払法人税等	1,128,214	467,955
賞与引当金	361,264	389,648
工事損失引当金	13,962	13,962
前受金	232,357	75,132
繰延税金負債	26,773	36,671
その他	716,599	822,536
流動負債合計	5,636,123	4,168,172
固定負債		
長期借入金	1,019,469	754,755
リース債務	155,968	151,232
退職給付に係る負債	801,116	851,283
繰延税金負債	53,220	37
資産除去債務	204,092	206,094
その他	113,196	113,196
固定負債合計	2,347,063	2,076,598
負債合計	7,983,187	6,244,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,255	1,176,255
資本剰余金	1,128,904	1,128,582
利益剰余金	9,514,099	10,767,237
自己株式	△714	△714
株主資本合計	11,818,545	13,071,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	283,080	106,786
為替換算調整勘定	1,443,739	1,584,575
その他の包括利益累計額合計	1,726,819	1,691,361
非支配株主持分	87,692	95,095
純資産合計	13,633,057	14,857,817
負債純資産合計	21,616,245	21,102,588

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	9,384,309	9,928,311
売上原価	4,007,702	3,995,600
売上総利益	5,376,607	5,932,711
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,069,758	1,147,388
賞与	323,185	334,188
退職給付費用	61,478	74,406
減価償却費	127,183	156,197
貸倒引当金繰入額	6,770	-
その他	1,642,785	1,870,179
販売費及び一般管理費合計	3,231,162	3,582,361
営業利益	2,145,444	2,350,349
営業外収益		
受取利息	12,223	12,909
受取配当金	18,419	18,474
為替差益	8,353	-
貸倒引当金戻入額	-	7,764
持分法による投資利益	102	-
その他	3,988	20,850
営業外収益合計	43,087	59,997
営業外費用		
支払利息	14,090	11,784
為替差損	-	9,203
持分法による投資損失	-	143
その他	1,187	2,119
営業外費用合計	15,277	23,251
経常利益	2,173,254	2,387,095
特別利益		
固定資産売却益	4,977	3,515
特別利益合計	4,977	3,515
特別損失		
固定資産売却損	-	156
固定資産除却損	618	312
投資有価証券評価損	467	-
特別損失合計	1,086	469
税金等調整前四半期純利益	2,177,145	2,390,141
法人税、住民税及び事業税	522,996	605,954
法人税等調整額	154,360	163,314
法人税等合計	677,357	769,269
四半期純利益	1,499,788	1,620,872
非支配株主に帰属する四半期純利益	58,502	15,017
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,441,286	1,605,854

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,499,788	1,620,872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,382	△176,294
為替換算調整勘定	△235,132	140,216
持分法適用会社に対する持分相当額	△96	-
その他の包括利益合計	△166,846	△36,077
四半期包括利益	1,332,942	1,584,795
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,279,152	1,570,396
非支配株主に係る四半期包括利益	53,789	14,398

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,177,145	2,390,141
減価償却費	187,769	246,013
のれん償却額	41,016	3,385
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,307	△7,803
賞与引当金の増減額 (△は減少)	78,802	27,009
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	49,364	50,313
受取利息及び受取配当金	△30,642	△31,383
支払利息	14,090	11,784
為替差損益 (△は益)	△27,682	6,155
持分法による投資損益 (△は益)	△102	143
固定資産売却損益 (△は益)	△4,977	△3,359
固定資産除却損	618	312
投資有価証券評価損益 (△は益)	467	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△927,414	32,949
前受金の増減額 (△は減少)	59,484	△157,689
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△211,720	270,025
仕入債務の増減額 (△は減少)	166,444	△671,265
前渡金の増減額 (△は増加)	159,275	31,355
その他	△300,778	174,579
小計	1,437,467	2,372,667
利息及び配当金の受取額	35,059	35,804
利息の支払額	△14,045	△12,670
法人税等の支払額	△661,121	△1,275,691
法人税等の還付額	47,922	4,521
営業活動によるキャッシュ・フロー	845,282	1,124,631
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	253,475	45,140
有形固定資産の取得による支出	△490,502	△179,080
有形固定資産の売却による収入	1,842	4,076
無形固定資産の取得による支出	△14,649	△20,421
投資有価証券の取得による支出	△391	△309,229
ゴルフ会員権の取得による支出	-	△19,259
関係会社の整理による収入	-	8,391
子会社株式の取得による支出	△14,618	-
その他	△50,556	△7,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△315,400	△477,873

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△81,540	△99,636
長期借入れによる収入	900,000	-
長期借入金の返済による支出	△369,095	△309,330
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,418	△9,614
配当金の支払額	△193,707	△352,227
非支配株主からの払込みによる収入	3,861	-
非支配株主への配当金の支払額	-	△4,361
財務活動によるキャッシュ・フロー	252,099	△775,171
現金及び現金同等物に係る換算差額	△64,647	46,542
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	717,334	△81,870
現金及び現金同等物の期首残高	4,180,478	6,420,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,897,812	6,338,648

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末に比して著しい変動がないため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,494,861	1,482,258	407,190	9,384,309	—	9,384,309
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	499	499	△499	—
計	7,494,861	1,482,258	407,689	9,384,809	△499	9,384,309
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,815,819	68,608	△224,344	2,660,084	△514,639	2,145,444

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	3,330
全社費用※	△517,970
合計	△514,639

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,412,105	1,106,377	409,829	9,928,311	—	9,928,311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	382	382	△382	—
計	8,412,105	1,106,377	410,211	9,928,693	△382	9,928,311
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,062,107	48,704	△244,740	2,866,071	△515,721	2,350,349

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	3,173
全社費用※	△518,895
合計	△515,721

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。